



情報誌

FAR

46 号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

3 代目会長就任にあたって

会 長 川上壽昭



残暑の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃は FAR 会事業運営に種々ご支援・ご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。

この度、平成 28 年 4 月 16 日に開催されました本年度第 1 回世話人会において初代・橋本 宏会長、2 代・山田勝彦会長の後任として第 3 代の会長に就任するよう要請を受けました。

就任するに当たり改めて FAR 会の設立の経緯を振り返ってみますと「これまで JSRT の運営、維持、発展に貢献された方々が定年退職され、現役時代に親しかった方々とも疎遠となり、お互いの情報も乏しくなって、何とか情報交換の場、懇親の機会を作れないか」という声が高まり、「OB 同士が楽しいことを一

緒に共有できる場になること」、「現役生のパートナーの場になること」、「OB 会を通じて多くの人との触れ合いの場になること」を目的として、平成 13 年 4 月 5 日に神戸市において日本放射線技術学会（JSRT）の OB 会として発足しております。

本会の主な事業は、春秋 2 回の懇親会の開催と、年 3 回の情報誌の発行です。まず、春の懇親会は 4 月に開催される JSRT の総会学術大会に合わせて会場近くのお店を借りきって「語らいの宴」の開催。そして、秋には秋季学術大会開催地の名所旧跡を巡る 1 泊懇親旅行を行っております。また、会員相互の情報交換の手段として、情報誌を年 3 回発行し、FAR 会の活動状況や行事予定、JSRT の各種開催予定の広報の他に、テーマを決めて原稿を募集する特集や、会員からの絵画、写真、書、旅行記などの投稿欄も設け、数回にわたる連載ものなどを掲載し、内容も年々充実したものになってきております。更に、会員相互の交流を深めるため、会員名簿も適時に発行しています。このように橋本会長、山田会長の絶大なご尽力により継続、発展してきました FAR の 3 代目の会長に就任することになった訳ではありますが、不肖私が務まるかどうか大層不安を感じているところであります。

江戸時代中期に「売り家と唐様で書く 3 代目」という川柳があります。初代は苦勞して家や財産を築き、2 代目は、初代の苦勞を知っているので、金持ちになったからといって浮わついた暮らしはせず、それを受け継いで手堅く維持する。しかし、3 代目になると、生まれたときから金持ちで苦勞を知らないで、遊芸などで身を持ち崩し没落して、ついに自分の家売り家に出すようになる。その売家札の字が唐様（洒落た文字）であった。との 3 代目への戒めを詠っています。

内 容

1. ごあいさつ 会 長 川上壽昭
2. 秋季学術大会へのお誘い 大会長 梁川範幸
3. 2016 懇親のタベ報告 代表幹事 前田幸一
4. 会員動向
5. 会からのお知らせ
6. JSRT 情報
7. 追憶
 - 1)「生涯を学会に掛けた橋本 宏先生」 吉川市 川村義彦
 - 2)「橋本 宏先生 核医学診療の黎明期に、東京部会でピックアップされ薫陶を賜いました。」 世田谷区 喜多村道男
 - 3)「橋本 宏先生を偲んで」 京都市 清水久子
 - 4)「橋本 宏先生に感謝をこめて」 鴨川市 速水昭雄
 - 5)「橋本先生との出会い」 小金井市 平林久枝
8. 連載《ご当地自慢》

「おとなのワンダーランド 築地市場」 狛江市 松原 馨
9. 編集の小窓

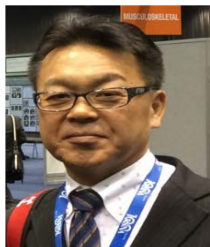
この川柳を糧として FAR 会の継続と今後の発展に向けて尽力したいと思っておりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

~~~~~

## 《秋季学術大会へのお誘い》

### 「関東支部圏での開催です！」

第 44 回秋季学術大会 大会長 梁川範幸



第 44 回秋季学術大会の大会長を拝命しました梁川です。FAR情報誌に初めて寄稿させていただきます。第 44 回秋季学術大会は、平成 28 年 10 月 13 日（木）～15 日（土）の 3 日間にわたり埼玉県さいたま市のソニックシティにて開催します。加藤英幸実行委員長（千葉大学医学部附属病院 副技師長）は、千葉大技師学校時代からの先輩後輩の間柄で、二人三脚で意見を出し合いながら実行委員会と共に準備を進めております。ご存知の通りさいたま市は、埼玉県の県庁所在地であり古くから鉄道施設を誘致して

いて「鉄道の町・交通の要衝」として有名です。この鉄道施設の跡地に開業している鉄道博物館を貸し切って情報交換会（10 月 14 日夜）を開催します。また、さいたま市はサッカーに関する事業も盛んで、Jリーグの 2 チームが存在し、市民公開講座として特別講演で元浦和レッズ&日本代表の福田正博さんによる人材育成の講演を予定しています。

今回のテーマは「放射線技術を極める：Be Creative, And Be Challenging」です。放射線技術学に関する教育・研究の推進、また学術の進歩と発展へ向けて創造的かつ挑戦的に活動して“極めよう”という主旨です。そうです、“極めること”が今回の最大の目的です。JSRT会員は真摯な気持ちで放射線技術学を極めるために邁進しています。全国から集う研究者達がお互いの想いを伝え意見交換し、さらに深層な研究域に達していただくような学術大会を目指しています。そのためにも、我々実行委員会は準備を怠ることなく、“おもてなしの心”を合言葉に運営を考えています。参加者が「第 44 回秋季学術大会に参加して良かったなあ」と思っただけの大会にしたいと思っています。

平野浩志支部長をはじめ関東支部の全面的な支援があります。また、JSRT監事であります森 克彦先生には東京支部をはじめ地方支部の方々への協力を呼び掛けていただき、心より感謝申し上げます。

今大会ではポスター発表はありませんが、ポスター展示会を開催します。ポスター展示者は各セッションでの優秀者の推薦をお願いしています。

口述発表だけでなく、内容もポスターで閲覧できます。ポスター展示会場と機器展示会場は併設していますので、千葉県銘菓を味わっていただきながら、展示機器メーカーのプレゼンにもご参加ください。今年度は 4 月に横浜市、10 月にさいたま市と関東開催が続いてしまいま

**第44回 日本放射線技術学会  
秋季学術大会**

放射線技術を**極める**  
**Be Creative, And Be Challenging**

2016.10/  
**13(木) 15(土)**

会 場 ソニックシティ(さいたま市)

市民公開講座 **福田正博 氏**  
(サッカー元日本代表, サッカー解説者)

大 会 長 梁川範幸 (東千葉メディカルセンター)

実行委員長 加藤英幸 (千葉大学医学部附属病院)

主 催 公益社団法人 日本放射線技術学会 (JSRT) 共 催 一般社団法人 日本ラジオロジー協会 (JRC)



すが、FAR会の皆さま、どうぞさいたま市での秋季学術大会を楽しんで下さい。極める心を忘れずに前向きに取り組む姿勢こそがBe Creative, And Be Challengingです。医療技術の進歩に乗り遅れないように、医療機器の高度化に対して自分自身を見失わないように、初心を忘れずに、常に患者さんの有益な情報を見出すための放射線技術学の進歩を意識したいと願っています。

~~~~~

《2016年 FAR会懇親の夕べ》報告

横浜中華街「聘珍樓」で会食

代表幹事 前田幸一

先にご案内したように、久しぶりに横浜中華街での会食をいたしました。
当日は、総会の終了を待たずに途中で席を立ち「聘珍樓」にて皆様をお迎えいたしました。
開会に先立ち、「聘珍樓」広報部長様から横浜中華街と聘珍樓の歴史を伺いました。
安政6年(1859年)開国となり横浜村に近代的な港が建設され、外国人居留地ができました。諸外国との通商が始まると、主に欧米系の企業が取引する時の仲介役として中国人商人が付いてきて計算や語学について重宝がられていたそうです。



聘珍樓・入り口



中華街入り口の門

その後横浜と上海、香港間に定期航路が開設されるとさらに多くの中国人商人が来日し居留地の一角に關帝廟、中華会館、中華学校などが建てられ横浜中華街の原型ができました。

明治17年(1884年)聘珍樓はこの地に誕生し日本の現存する中国料理店として一番古い暖簾です。その後居留地が廃止され欧米人の多くは帰国したが中国人はここに残り中国人街の雰囲気になりました。その後、関東大震災が大正12年(1923年)、横浜大空襲が昭和20年5月29日(1945年5月29日)を経て昭和30年(1955年)・中華街入口に門が建てられ、平成元年(1989年)建替え、現在に至っております。

説明の後、最長老の筒井さんの乾杯のご発声で会が始まりました。
部屋も吹き抜けで上部の壁面に螺鈿を施した木製屏風があり特別の雰囲気、総会を終えて駆けつけて下さった小倉代表理事のご挨拶を戴くなど、美味しい紹興酒を頂き料理に舌鼓を打ちつつ、歓談の時間を過ごしました。

会員の皆様も年々年を重ね、かつての酒豪も量より質という事で、紹興酒もランクを上げてご賞味いただき皆様からお喜びいただき好評でした。料理もやはり吟味されたものをお出しいただき、これまたお喜びいただき幹事としては何とかお役にたてたかなと自画自賛しております。



螺鈿屏風 1



螺鈿屏風 2

中華料理は奥が深くまだまだおいしいものがあるようですから、次の時にはさらに趣向を凝らした料理をご提供できるのではと思っております。



今回ご出席できなかった会員のみなさまには是非、次回中華料理の企画の折にはご参加くださいますよう今からお奨めをいたします。

*記載写真は、2016 懇親の夕べ (CD: 藤田卓造・山 哲男氏) 写真集より転載しました。

《会員動向》

- ・会員数：96名（平成28年8月16日現在）
- ・退会者：3名

自己退会者：1名 金尾啓右(大阪府池田市)

死亡退会者：2名 橋本 宏(2016年5月14日逝去)、石原 浩(2016年8月16日逝去)

《平成28年度版 会員名簿 訂正箇所》

本年5月にお手元にお届けした「FAR会平成28年度版会員名簿」の内、訂正箇所が有り、関係各位には、大変ご迷惑をおかけ致しました事を心よりお詫び申し上げます。

~~~~~  
《会からのお知らせ》

平成28年8月26日にJSRT事務局において、平成28年度第1回運営委員会・総務委員会の合同委員会を開催し、下記の議題について討議・報告等を行った。

- 1)平成29年度からの世話人の人選の検討
- 2)次年度事業計画案ならびに、次年度予算案についての検討
- 3)懇親活動関係
  - 1.「2016日光を巡る旅」の参加者応募状況の報告
  - 2.平成29年度秋季懇親旅行の企画案の検討
- 4)委員会関係
  - 1.編集委員会報告 情報誌第46号：平成28年9月15日・第47号：平成29年1月15日発行予定
  - 2.総務委員会報告
- 5)その他
  - 1.名誉会員推戴の件の報告
  - 2.FAR会前会長の処遇、顧問の推薦、空席の副会長等の検討
  - 3.会議日程

本年度第2回世話人会議 日時：平成28年10月15日、大宮ソニックシティ

合同委員会の討議内容を基に平成28年10月15日開催の第2回世話人会議に提案する事とし、会議を終了した。

~~~~~  
《JSRT 情報》

『第73回総会学術大会』大会テーマ：極めよう放射線医学、広げよう放射線診療

To the Summit of Radiology, to the Horizon of Radiology

大会長：宮地 利明（金沢大学医薬保健研究域保健学系）

会 期：平成29年4月13日（木）～16日（日）

会 場：パシフィコ横浜会議センター他

『第45回秋季学術大会』 大会テーマ：「未定」

大会長：上田 克彦（山口大学医学部附属病院）
会 期：平成 29 年 10 月 19 日（木）～21 日（土）
会 場：広島国際会議場

《追 憶》

生涯を学会に掛けた橋本 宏先生

吉川市 川村義彦

橋本 宏先生との思い出は本当に沢山あり、それだけ先生にはお世話になっておりました。ご一緒させていただいたお酒の席は一体どれ程の回数になるのでしょうか。千代田別館の東京部会事務所での会議終了後は事務所裏手の中華の二階か八重洲口のお店で、学会総会・秋季学術大会開催準備委員会の拠点の飯田橋の日医大第一病院では、山岸一雄先生の行きつけのお店で、さらに関東部会の会議、京都の学会本部でも、総会や秋季大会、JMCP 関連でも、東京部会有志の忘年会でも、そして梅垣先生に集う会でも、とても楽しい美味しいお酒をご一緒させていただきました。先生との楽しい思い出を心から感謝しております。

ところで、橋本 宏先生が学会に生涯を掛ける転機を作ったのは、私の恩師の石田勝哉先生と技師会の中村 実会長だったと私は思っています。東京の学会と技師会の会長を兼務していた石田先生は、技師の身分法の論争の大混乱の中で学術研究・学問に目もくれない労組上がりの強者達の対応に、橋本先生の交渉力・折衝力を見込んで技師会の常務理事に送り出したのです。これが人生の転機となったと「石田勝哉先生業績集」に橋本先生は寄稿されており、ここから交渉力・折衝力・政治力の橋本 宏先生に磨きがかかっているのです。

しかし、両雄並び立たずで、橋本 宏先生は技師会ではなく学会の発展に生涯を掛けることになっていくのです。技師会の中村 実会長のことは絶えず意識しておられ、私を技師会常務理事に送り込まれた時にも、鈴鹿の大学申請・設立に取り組んでいた時で、とても気になさっておられ、生涯に渡ってのライバルだと思っておられたようにお見受けしました。

私は総会開催の実行委員を何回となく担当しましたが、忘れられないのが恩師の石田先生が学会長で、不退転の決意で学会の一大改革に臨んだ杉並公会堂での第 27 回総会学術大会でした。学会創設から学会に携わってこられた先生は、前々より学会のあり方・総会学術大会開催のあり方に思いを深めておられ、覚悟を持ってその改革に臨まれたのです。そして、本来の学会のあり方を奈良の林 周二先生を介して、若手のホープの山田勝彦先生を委員長にした学会のあり方検討委員会に託したのです。いつも穏やかな静かな先生でありながら、学会に対する情熱と確たる信念をお持ちで、そして英断と実行により、一気に本来のあるべき学会とその組織が形成されていくことになるのです。そして、その英断が学会の社団法人の文部省認可申請に進み、橋本 宏先生の出番となって文部省との粘り強い折衝・交渉に繋がり見事に認可を勝ち取っていくのです。さらに石田先生が危惧されていた学会の開催は、JMCP の結成時の複雑な状況の中で、橋本 宏先生が政治力を遺憾なく発揮されて現在の姿を創りあげたのです。生涯を学会に捧げてきた橋本先生は、学会にとっての恩人であり忘れてはならないお一人なのです。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

橋本 宏先生 核医学診療の黎明期に、東京部会でピックアップされ薫陶を賜りました。

世田谷区 喜多村道男

先生との出会いは、RI 検査の始まりがきっかけとなります。東京部会のリーダーだった先生が、放射線技術分野毎の分科会を立ち上げる際に、RI 検査分野の者として登用していただいたことでした。

やがて、東京部会学術委員長を 9 年ほど仰せつかり、部会行事や会議後の懇親の席でいつも穏やかに様々なことを教えて頂きました。学会のことや学術研修の愉しみ、そして研鑽意欲を心底から掻き立てられました。海外施設研修へも幾度も出掛けることとなり、後進教育にも繋がり真摯に取り組むことができました。

先生はいつも舵がきかないほどの大波に翻弄され、満天の星空に涙したこの航海の北極星としての存在でした。この人生、58 年間の核医学分野を生業として頑張ることができ、そして全うすることができました。今、この針路に、大きく影響を受けることになったことを改めて思い起しています。

初めて病院への入職は、虎の門病院の洗濯夫募集の応募でした。三井記念病院、帝京大学と白衣を着て患者さんや学生の前に立ち、中卒直後の丁稚奉公を合わせて61年間の仕事人生でした。

RI検査が都内でも10施設に満たないころ、勤務先の虎の門病院がいち早く取り入れ関わることになりました。そして数施設の担当技師宛に葉書を書いて集まりを持ちかけました。昭和45年4月6日に虎の門病院3階会議室に10名ほどの見知らぬ方々が参加されました。第1回東京核医学技術研究会となり、この9月の月例会が第481回となります。当時、同じような研究会が全国のあちこちで立ち上がり、日本核医学技術研究会となり、10年後に日本核医学技術学会へと繋がりました。今年の秋には第36回総会学術大会が盛大に開催され感無量です。

一方、病院勤務のかたわら43年の間、「技術は愛だ」とか「人に優しい技術でなければ技術でない」なんて言いながら、大学や専修学校7校で8,400名の臨床検査や診療放射線学科などの授業をさせて頂きました。どこかで白衣を着て患者さんの前に立ち医療貢献しているはずです。ここでも、先生に賜った薫陶が大いに息づいていると確信しています。この間、手を抜くことのなかったことが誇りであるとともに、少し心残りもあります。性分で仕方がないことですが、少し手を抜いて楽しめばよかったと悔やまれます（この辺のご指導は特になかった）。

橋本 宏先生 たまに薄目で結構です。開いていただいて「医学と工学の橋渡し領域を担う専門技術者」に本領発揮の光を当てていただくよう願っております。

寒村の雪深い里の中学を出て、直後から飯場生活などを経て2年後にそば屋さんの丁稚奉公で上京し、3年遅れで都立高校定時制への入学を果たし14年間の夜学生生活となりました。

やがて、おふくろのあのあったかい膝の中に再び飛び込んでいける歳になりましたが、これからも先生への思いを馳せることは尽きないと思います。

橋本 宏先生 ありがとうございます。ご冥福をお祈りしております。

橋本 宏先生を偲んで

京都市 清水久子

名誉会員・FAR会元会長の橋本先生が5月14日にご逝去されたことのご連絡を受け大変驚き呆然としました。

振りかえれば 私は、昭和47年4月から日本放射線技術学会事務局職員として働かせていただくことになり、翌年の昭和48年に橋本先生は、理事として事務局へ来られました。あのさ～清水さん。と、呼んでいたが、兄のような眼差しで優しくご指導をいただきましたことが、昨日のように思い出されます。当時先生は渉外担当で学会の法人化について取り組まれておられました。学会誌・総会学術大会予稿集への広告掲載募集の際には、事務局と連携を取り合って100社という高い目標を上回る広告掲載を頂くことができました。また、昭和50年3月24日付で文部省より法人認可されるまでは大変ご苦労されました。全て自費で文部省までの定期券を購入し何度も足を運ばれ、僅か3年余りで法人を取得できたことは、橋本先生の忍耐・責任感そして学会への強い一心だったと思います。当時、法人化への基金も必要で出来る限り諸経費は節約、そして各委員の人数を削減するよう求められていた状況で私も如何に事務局内において節約を日々考え行動していました。このような状況ですので、事務局長に橋本先生の交通費だけでも支給をされては如何ですかと進言することすら出来ませんでした。

昭和54年度、橋本先生は、日本放射線技術学会会長に任命され東京において第35回総会学術大会長として主催されました。事務局職員が初めて学術大会へ出張することとなりました。第35回記念として「会員名簿」が発刊されることになりましたが、印刷が間に合わず、私は、一日遅れて会員名簿を持参して代議員会場（九段の日本私学振興財団）へ京都から出向きました。受付には先生が笑顔で迎えてくださって、ほんとに安堵しました。

平成13年4月5日神戸において学会員OB会として「FAR会」が発足し、会長に推薦された先生は「FAR会を明るく楽しい会に育てていくために・・・ご支援をよろしく」と、挨拶されました。FAR会懇親会におい

て、お歌が好で「雪国」を良い笑顔で歌ってくださいました。締めくくりには、手を広げられ「お手を拝借」一本締め！

平成 17 年には、私の定年退職祝賀会に遠方からご参加いただきました。

お祝いの言葉の中に、厳しい局長さんに仕えたことの話など・・・当時の様子が思い出され目頭が熱くなりました。

最後に壇上で挨拶をする私にお会いした時と同じ兄のような眼差しでお聴きいただきましたことが印象に残っています。橋本先生は、私の事務局の仕事の係わりについて常に深い愛情を持ってご指導を賜りましたことを改めて感謝いたします。

写真は平成 17 年 4 月（私の定年退職時）

どうぞ 安らかにご冥福をお祈り申し上げます



橋本 宏先生に感謝をこめて

鴨川市 速水昭雄

放射線技師会と放射線技術学会の発展に、生涯に亘り情熱をかけていただいた橋本先生のご逝去を慎み、哀心よりご冥福をお祈り申し上げます。

先生とのお付き合いは 40 数年に及び、日本放射線技術学会と東京部会を通しての学会活動に尽きると思っています。その間に受けた恩恵とエピソードは語り尽くせないものであります。特に先生の思い出として印象深いことは、「常に自分の信念を貫く姿勢の強さであります」。人との交渉や説得の力量は、済生会中央病院での労働組合委員長としての活動を通して会得されたのではと思います。特に私達の立場から苦手とする年配の教授や院長とも遠慮なく持論を展開し、相手を説得する話術にはいつも感心させられることがありました。

誰にも真似できない誠実な人間性と気配りが、多くの友人や後輩から広く信頼される所以でもあります。現職を退任された後も今まで関与された地元の技師会や学会などの会議や集まりにも積極的に参加され、何処でも後輩から頼りにされていました。これは先生の真面目さと情熱の現れであります。

私にとって放射線技師としての成長の節目には適切な支援に預かり、放射線技術学会の会議で同席する機会も多くあり、私が学会長を辞任する時まで、常にご指導をいただきました。



中華人民共和国遼寧省の学会に参加（1990. 5）

その間に受けたアドバイスは限りなくありましたが、特に印象深いこととして感謝しているのは、私が国立がんセンターから亀田総合病院にお世話になった 1 年後に日本放射線技術学会の会長に推薦されたときには、わざわざ鴨川までご足労いただき、当時の理事長・院長に会長就任の依頼と説得を直接していただいたことや、JMCP を産学協同で作った時、私がたまたま当時技術学会の年度会長（今の学会大会長に相当）であったことから JMCP の副会長に就任させていただきました。その時、橋本先生は JMCP の技術学会代表の理事の 1 人として、JMCP 設立時の技術学会としての矢面に立って交渉をしていただき、放射線医学会、放射線機器工業会と対等の立場で実質的な話し合いを進めてこられました。その時も放射線医学界の理事の教授達の圧力にも決してひるむことなく会議を進捗し、その後の JRC への継続と技術学会における学会開催運営の経済的な基盤作りに大いに貢献できたのは橋本先生の努力のお陰であり、心より感謝申し上げます。

橋本先生との出会い

小平市 平林久枝

橋本先生が埼玉県立小児医療センターを定年退職後も働き続けておられた職場に、第56回総会学術大会・大会長を引き受けるかどうかについて相談に伺い、励まされたことを思い出します。

橋本先生との出会いは、私の前任の東京女子医大の総技師長であった大谷英尚氏を通じてです。高エネルギー放射線治療・核医学検査の普及により診療エックス線技師法を一部改正して診療放射線技師が誕生しましたが、国家試験受験のため講習会の準備等の役割を振られた時からのお付き合いです。学会の役割も分からないままテキストの作成、講習会場の手配等の手伝いをしていたように思います。

橋本先生の発案でJSRTにJIS委員会を発足させ、役割を振られたことで放射線治療機器のJIS・IEC委員のお役目が私にも回ってくることとなりました。橋本先生は平成3年に放射線機器の標準化への貢献が認められて通商産業大臣表彰を受賞されました。受賞記念祝賀会の準備委員として先生に花束贈呈の懐かしい写真が見つかりました。本人とは思えない現役の頃の写真です。

学会の委員会の後、先生常連の店で珍しい焼鳥をご馳走になった事も思い出します。

技術学会の立ち上げ、法人化の活動等については学会誌で紹介の通りです。我々が使用する放射線機器の規格制定・審議について使用者代表として技術学会がJIS・IEC委員会へ参加の道を開いた事も先生の幅広い人脈を通じて成し遂げました。現在のJMCP大会へと繋がると思います。

その後も学会場やFAR会でお付き合いする事ができました。平成19年に前出の私の上司であった大谷氏が亡くなり、送る会の席上でのスナップを見つけました。隣は技師会、技術学会創成期に橋本先生と活動を共にした国定氏です。

橋本先生と苦楽を共にして学会活動を推進してきたお仲間もおられるあの世は如何でしょうか。

心よりご冥福をお祈りします。



受賞記念祝賀会で先生に花束贈呈



大谷氏を送る会の席の橋本先生

《連載》ご当地自慢

「おとなのワンダーランド 築地市場」

狛江市 松原 馨



FAR会の皆さま、はじめまして、今年度よりお仲間に加えていただきました朝日新聞東京本社診療所の松原 馨と申します。このたびは「ご当地自慢」の執筆の機会を与えていただきまして感謝申し上げます。私は2013年3月に東京慈恵会医科大学附属第三病院を定年退職し、同年4月より築地にある朝日新聞東京本社診療所に勤務しております。JSRTでは企画委員会や放射線撮影部会、プログラム小委員会などでお世話になり、東京支部でも副部会長や理事としてお仕事をさせていただき、ありがとうございました。また、超音波という診療放射線技師の業務の中でもまだまだマイナーなモダリティに従事していたにも拘わらず、宿題報告の大役をいただ

き、名誉ある学術賞も頂戴し、心より御礼申し上げます。

【なぜ築地市場なのか？】

私の勤務する朝日新聞東京本社診療所はすぐ隣に国立がん研究センター中央病院があり、その向こう側の少し離れた場所には聖路加国際病院が望め、新大橋通りを隔てて築地市場の正面ゲートがあり、その奥の晴海通りに区切られている地区に広大な場内市場・場外市場が広がっています。今、築地市場には、国内からの観光客のみならず、海外からの観光客も毎日大挙押し掛けています。朝の通勤時間帯でも地下鉄の中には海外の方々があふれ、周辺の道路には観光バスが列を連ねています。私自身も以前から築地へ買い物に出掛けてはいましたが、築地の職場に通うようになり毎日場外市場・場内市場を散策しながら通勤するようになってはじめて、なぜ、これほどたくさんの人たちが築地を訪れるのか、やっと築地市場の魅力を肌で感じられた気がします。訪れる人たちは皆笑顔満開で、まさしく TDR (TOKYO Disney RESORT) や USJ (UNIVERSAL STUDIOS JAPAN) にも勝るとも劣らない『おとなのワンダーランド』だと思っています。地下鉄の駅から出た瞬間に、誰をも笑顔に変えてしまう不思議な魔力が築地にはあります。さらに、場内市場が平成 28 年 11 月からは江東区豊洲の新市場に移設となる予定のため、現在の場内市場だけは今年の 10 月まで、残りあと 1 ヶ月半のみとなりました。今回は、この『おとなのワンダーランド』である築地市場の魅力と歩き方について書かせていただきます。(地図 1)



地図 1

【築地市場の生い立ちとは？】

築地市場の正式名は東京都中央卸売市場築地市場といい、昭和 10 年の開設以来、魚河岸の名称で親しまれ、既に 80 年以上の歴史が刻まれています。文献によりますと、その始まりは日本橋が魚市場発祥の地といわれ、江戸幕府を開いた徳川家康が、1603 年頃、江戸城内の台所をまかなうため大阪の佃村から漁師たちを呼び寄せ、江戸湾内での漁業の特権を与え、漁師たちに魚を幕府へ納めさせ、残りの魚を日本橋で売るように、それが魚河岸の始まりといわれています。その後、明治時代に入り新政府のもとで市場も近代化が図られ、大正時代に入り「中央卸売市場法」が制定され、東京市が指導、運営を目指して中央卸売市場の計画を進めていた矢先の 大正 12 年 9 月、関東大震災が発生し、大規模な火災が東京を焼き尽くし、江戸時代以来の歴史を誇った日本橋魚河岸も焼失してしまいました。震災直後、芝浦に仮設市場が設けられましたが、同年 12 月には、交通の便が悪く、狭いなどの理由から、東京市は海軍省から築地の用地の一部を借り東京市設魚市場として芝浦から移転させ、中央卸売市場開設までの暫定市場として建設しましたが、これが築地市場の始まりといわれています。昭和 10 年 2 月、築地に広さ約 23 万平方メートルの東京都中央卸売市場が開設されました。現在、東京都中央卸売市場築地市場は日本最大の魚市場になり、2013 年実績 (朝日新聞調べ) で、一日平均の取扱量は水産物 1,779 トン、青果物 1,142 トンで、取引額は水産物 15.5 億円、青果物 3.19 億円となっています。(写真 1)

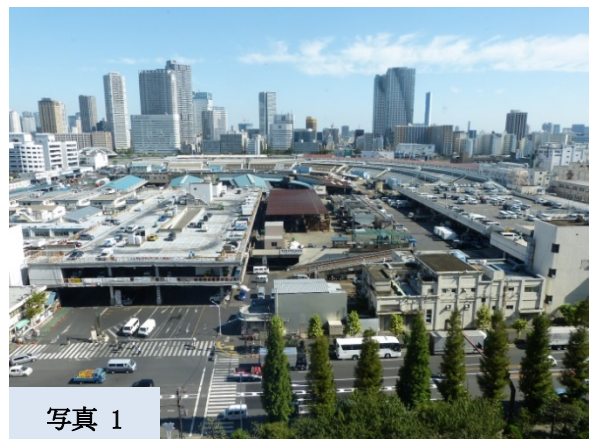


写真 1

【築地市場へのアクセスは？】

築地市場へのアクセスとしては、都営バスも利用されていますが、交通渋滞などの影響を考えると、多くの方々は地下鉄を利用されています。地下鉄を利用する場合に最もアクセスのよい駅は、都営大江戸線「築地市場駅」でA1出口は築地市場正門すぐ横にあり、出口から出て左に20m程歩けば、正門の巡視詰所（守衛所）に至ります。ここで、場内市場の案内図を受け取ることができ、案内図は数カ国語で記載されています。ちなみに、A2出口は朝日新聞東京本社の玄関前、A3出口は国立がん研究センター管理棟・研究所入口脇にあるため、場内市場に行く場合にはA1出口をお勧めします。（写真2）



写真 2

その次にアクセスのよい駅は、東京メトロ日比谷線「築地駅」となります。中目黒方面に向かう電車の場合には最前部で降り改札を出て1番出口、北千住方面に向かう電車の場合には最後尾で降り改札を出て2番出口、それぞれから新大橋通りを150mほど歩くと場外市場の始まりの築地4丁目に至ります。「築地駅」の1番出口や2番出口を出ると、すぐに古代インド様式の独特な建築物である築地本願寺があります。築地本願寺は、京都西本願寺を本山とする浄土真宗本願寺派の寺院ですが、この地が「築地」と呼ばれるようになった由来となっています。1617年に創建された当時は浅草横山町の地に建立されました。その後、1657年の明暦の大火により坊舎が焼失し、幕府の区画整理のため元の場所への再建の許可が得られず、代替え地として用意されたのは八丁堀の海上でした。そこで佃島の門徒が中心となり、本堂再建のために海を埋め立てて土地を築いたことから、「築地」という地名になったとのことです。1679年に築地御坊として再建され、長く地域の門徒に愛されていましたが、1923年の関東大震災に伴う火災により本堂を焼失してしまいました。現在のような古代インド様式の建物は1934年に再建されました。外観は古代インド様式の石造りですが、本堂内部は荘厳な伝統的真宗寺院の造りとなっており、拝観料も無料なので、一度訪れてみるのもよろしいかと思います。（写真3）



写真 3

さらに、その次にアクセスのよい駅は、東京メトロ日比谷線&都営浅草線「東銀座駅」となります。日比谷線中目黒方面に向かう電車の場合には最後尾、日比谷線北千住方面に向かう電車の場合には最前部で降り改札を出て、また都営浅草線からは日比谷線経由で、6番出口を出てから晴海通りを300mほど歩くと場外市場の始まりの築地4丁目に至ります。「東銀座駅」前には歌舞伎座があり、現在の建物はタワービルにもかかわらず昔の歌舞伎座の伝統的な建築物を継承した造りで、2013年に建て直されたものです。「東銀座駅」の3番出口への改札口は歌舞伎座の地下2階にある木挽町広場に直結していて、歌舞伎座にちなんだグッズやお土産物、弁当などが購入できます。ここもお勧めスポットの一つです。（写真4）



写真 4

【築地場内市場へのすすめ】

水産仲卸棟は端から端までで約 300m もあり、縦 6 本、横 大小 15 本の細い通路により碁盤の目のように区切られています。通路には 1 辺 10cm ほどの正方形をした「ピンコロ石」と呼ばれる敷石が敷き詰められていて、水が流れやすいように石畳になっています。そこに、大小さまざまな売場面積の仲卸業者の店舗があり、水産物の小売業者や鮎屋をはじめ飲食業者などプロの業者が買い付けに来ています。もちろん、我々



一般人も購入することはできますが、9:00以降でないとは水産仲卸棟には入れないことになっています。ただ、水産仲卸棟の業者は、朝が早い分、ほとんどが午前10時頃には店を閉めてしまいますので、顔を出すタイミングが難しいかも知れません。

水産仲卸棟には、さまざまな水産物を専門で扱う業者があり、マグロ専門業者、鮮魚専門業者、カニ専門業者、タコ専門業者、ウナギ専門業者、貝類専門業者など特徴のあるお店がたくさんあります。何よりも楽しいのは、マグロのような大型魚をさばいている現場を見られたり、もの凄く多くの種類の新鮮な魚類やカニ類、貝類、ウニなどを見ることができることであり、また、それらの魚介類をその場で市中より安く購入できることが最大の魅力だと思います。私自身も、朝日新聞東京本社診療所に勤めるようになってから、通勤途中で時間が取れば必ず場内・場外を散策するようにしていて、毎回買い物はしなくても、さまざまな商品を見たり、価格の推移をみたり、業者の人たちと挨拶を交わしたりしているだけで、気分転換や適度なストレス発散もできて、精神衛生上とても良い効果が出ていると感じます。もう3年以上通っているおかげで、顔馴染みになった業者も数多くでき、ウニを買うにはこの店、ハマグリはこの店、鮭はこの店というように自分のお気に入りの店を決めています。特にマグロは、なかなか市中では手に入らない中落ちを、鮭屋などのプロの業者に交じって注文を受けてもらえるようになり、週一回の割合で楽しんでいます。また、正月の初売りの時期には、お年賀のタオルや手拭いをいただける業者も増えました。ここで、耳よりの情報ですが、ウニやハマグリなどは、時期や時節により同じものでも値段が大きく変動し、タイミングによっては半額程度になったり倍以上になったりすることもあるので、可能であれば、いきなり買うのではなく何回か様子を見てから購入すると良いかも知れません。(写真5)(写真6)(写真7)(写真8)

それから、ほとんどの皆さんが水産物部には足を運んでいます、案外、青果部には顔を出している方が少ないという事実があります。私には青果部にも顔なじみになった業者がいて、アボカドを買うなら必ず「つま亀」というお店に決めています。市中のスーパーマーケットで200円以上しているアボカドよりも数周り



写真 9



写真 10

大きくて濃厚な味のアボカドを50～100円でゲットでき、相場によっては写真のような24個入り1ケースで500円という超特価で購入できてしまうこともあります。(写真9)(写真10)

【場内市場内の魚がし横丁】

場内市場内には、水産物の取引をする場所だけではなく、築地市場で働く人が食事をしたり買い物をする魚かし横丁という場所がありますが、もちろん、一般の人たちも利用できます。1号館、4号館、5号館、6号館、7号館、8号館、9号館、10号館の中にはメディアでもよく取り上



写真 11



写真 12

げられる人気の飲食店も数多くあり、朝早くから海外の観光客や日本人で長蛇の行列ができています。この中には、鮎店、ウナギ店、てんぷら店、洋食店などがありますが、あの牛井の吉野家の日本第1号店があることでも有名です。(写真11) (写真12)

それから、もう1軒、ほとんどの人に知られていない知る人ぞ知るお店があります。場所が、皆さんがあまり足を運ばない青果部のほうに1軒だけポツンと離れているせいもあって、こんなところにお店があったのかと思う隠れ家的な存在で、「市場の厨房」といいます。営業時間は、朝が6:00~11:00、昼が11:00~14:00、夜が17:00~22:00と1日中、主に市場に働く人たちの胃袋を支えています。もちろんここも一般人が利用できますし、美味しい刺身など水産物を中心に安く提供してくれます。(写真13)

【築地場内市場でのマナーとルールとは？】

場内市場の中では、外の世界とはまるで異なるマナーとルールがあり、それを知らずに、場内で行動すると、時には危険なことに遭遇することがあるため、注意が必要です。ここでは、知っておきたい場内でのマナーとルールについて述べさせていただきます。

① ターレや貨物車両にご注意を！(歩行者優先ではありません)

場内市場には大きなトラックや貨物車両が数多く走行しています。特に、「ターレ」(本名：ターレット)と呼ばれる仲卸が荷物を運ぶ電動リヤカーが縦横無尽に走り回っています。さらに、水産仲卸棟では細い通路でもかなりのスピードで走っています。基本的に、場内では車両が優先なので、人は車両が通り過ぎるまで待つのがルールとなっています。このターレは、ほとんどクラクションも鳴らさず、電動式が増えたため、後方から来ても気が付き難いので、歩行者側が事故の無いように充分ご注意ください。(写真14)

② 通路での立ち止まりやすれ違いにご注意を！

水産仲卸棟の通路は非常に狭く、写真を撮るために立ち止まったりしてはいけません。海外の観光客の中には、珍しい魚の画像を取るのに夢中になり、往来を妨げたりすることが多々見られます。基本的に、仲卸業者と買い付けする人達が仕事をしている場なので、その妨げになるような行動は絶対に控えてはなりません。また、通路によっては極端に狭い場所があり、人と人がすれ違うこと自体危険なこともあるので、譲り合いの精神も大切だと思います。ましてや、ベビーカー、スーツケースの持ち込みは問題外です。それから、注意書きには、水産仲卸棟の中に入るには、1グループ6名以内で行動するようにと記されています。(写真15)

足元に万全のご注意を！

通路は濡れているので、滑らないような靴を履いてください。外国の観光客ではよく見かけますが、ハイヒールやサンダルは避けたほうが良いと思います。また、水産仲卸棟の石畳の通路は、魚をさばいた身を洗ったりした水が流されたりして常に水が溜まっているので、汚れてもよい服装をお勧めします。

【場内市場のビックリ・ポン】



写真 13



写真 14



写真 15

築地市場の正門脇の巡視詰所（守衛所）横に、拾得物掲示板というホワイトボードが設置されています。掲示されている品物を見ると、タイ&タコ、卵焼き、焼きちくわ、豆腐、生シラスなど生ものばかりで、いかにも場内市場の中ならではの拾得物だと思えるものばかりです。さらに、多くの外国人が不思議に思うのは、財布や現金を落としても、拾われてそのまま届けられてくること自体が、彼らの国ではありえないことだそうです。実際に、昨年、私も場内か場外で家の鍵やロッカーのカギなどが付いたキーホルダーを落としてしまいましたが、昼休みに巡視詰所に電話したところ、キーホルダーは拾われ届けられていて、無事に戻ってきました。（写真 16）

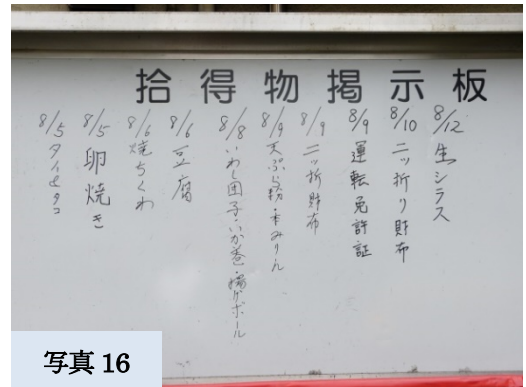


写真 16

【場外市場って？】

場外市場は、場内市場のように囲われている地域ではなく、場内市場の東側に隣接する地区から晴海通りまでに至る商店の集まった街の一角を指します。場外市場は、場内市場の仲卸売業者から買い付けた水産物を加工して販売したり、あるいは仲卸売業者が場外市場内に小売店を設けて販売したりと、プロの業者も買い付けに来ますが、多くは一般人が対象となっている小売店の集合業態といえます。（写真 17）



写真 17

場外市場のホームページによると、370 軒余りの店舗があり、内訳は、玉子焼き：10 軒、まぐろ：6 軒、鮮魚貝類：24 軒、塩干魚・魚類加工品：49 軒、肉類・卵：12 軒、青果・妻もの：18 軒、おでん・練製品：9 軒、珍味：18 軒、漬物：10 軒、佃煮・煮豆・惣菜：8 軒、食料品・冷凍商品：18 軒、鮎屋：35 軒、海鮮丼：14 軒、お食事：50 軒、喫茶・軽食：9 軒、鰹節：10 軒、海苔・茶：15 軒、乾物・穀類：11 軒、料理道具・厨房：7 軒、刃物：6 軒、食器類：5 軒、包装用品：6 軒、その他：23 軒となっています。

築地場外市場といえば、まずは美味しい鮎屋が多く、たくさんの人が朝から訪れています。場外市場も、全体の半分以上の店舗が 12 時前後には閉めはじめ、14 時頃には鮎屋を除くほとんどの店舗が閉店してしまいます。そして、夕方から夜まで営業しているのが鮎屋であり、夜の築地を目指してくる客層のほとんどが鮎屋を目当てにやってきます。築地の鮎屋といえば、座れば一人 2〜3 万円という高級店からリーズナブルな回転鮎屋までさまざまあり、自分の懐具合にあったお店で楽しんでいます。私が通う店と云えば、その両者の間で、高級店でもなくあまり綺麗とは言えませんが、味は美味しいと思っている鮎屋があります。もし、築地においでになる機会がありましたら、ご案内させていただきたいと思います。

場外市場で鮎屋の次に話題になるのが、江戸前の玉子焼きの名店が揃っていることです。有名人の実家であることでメディアによく取り上げられている業者をはじめ、10 の業者が軒を並べています。もともと江戸前の玉子焼きは甘い出し巻き玉子焼きなので、人それぞれに好き嫌いはあると思いますが、基本的には頑固に甘い味を守ってきています。私自身は、あまり甘い味が得意ではないので、いろいろな店舗の味を試しているうちに、甘さ控えめの玉子焼きも作っている「山長」に辿り着き、最近では誰かと会う時には、「山長」の玉子焼きを購入してお渡しすることにしています。（写真 18）



写真 18

私の通勤時の朝の散策には、果物野菜の「内野商店」、豆の「海宝」、漬け物の「中川屋」、鮭・塩辛の「喜代村」、ウナギ蒲焼の「はいばら」、カレーおにぎりの「東インドカレー商会」、玉子焼きの「山長」、干物の「内長」をルーティンで回遊し、買い物をしたり、店主に挨拶をしたり、店員と雑談したりと出勤前にリフレッシュしています。場外市場の魅力は客の主体が一般人であり、プロの業者に気兼ねなく、品物を見たり購入したりできるところだと思います。

【築地市場の今後とは？】

2016年10月末日をもって、築地場内市場は閉鎖され、11月7日より豊洲に移転します。業者の中には豊洲新市場の使い勝手や設備に問題があり、移転せずに廃業するという業者もいます。実を言うと、私がマグロの中落ちを仕入れている業者もそのように言うておりますし、買う側としてもわざわざ豊洲までは行こうとは思わないと考えている人たちも大勢います。それに加え、一般人は豊洲新市場には入れないという話もあるため、残りの期日まで築地場内市場を目一杯楽しもうという機運が高まっています。一方、築地場外市場は現在そのまま移転はしませんが、それに加えて2016年10月には場外市場の中に新たな形態の築地魚河岸という仕入れ施設がオープンになり、ますます人が集まりそうです。(写真19)



写真 19

80年以上続いた築地場内市場の最後を迎えることはとても残念で寂しい気持ちで一杯ですが、最後の日まで今の場内市場を楽しみたいと思います。もし、お近くにいらっしゃる機会がございましたら、気軽にお声を掛けてください。是非、築地市場の素晴らしさを味わっていただけるようご案内します。

最後に、FAR会会員の皆さまの今後のご健勝とご発展を祈念いたします。

*追記、昨今の情勢により、豊洲への移転時期が先延ばしになる可能性が出てきましたが、その際には現築地場内市場を目一杯謳歌しましょう！

《編集の小窓》

今年の夏は、猛暑・酷暑と言われながら、関東地方では梅雨明けが7月末にずれ込むなど不安定な天候が続き8月なのに台風が北海道・本州に上陸するなど自然災害の復旧・復興が、急務となっておりますが、会員の皆様には恙なくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

盛夏を物ともしないでウォーキングに汗をかいている筆者ですが、8月初頭にコースの途中に「トリトマ」の開花を昨年と同じ場所で眺めながら、近郊の散策場所で「トリトマ」の花を観ることが出来る4箇所を思い出しながら、自宅近くの中央小学校の道路を進んでいると校舎の南側の校庭に「トリトマ」が咲くのを見つけ、5箇所目であることを記憶に止めました。「トリトマ」の花言葉は、あなたを思うと胸が痛む・情熱家・恋するつらさ・せつない思い、花言葉の「恋するつらさ、せつない思い」などは、トリトマの花茎がしだいに曲がる性質があるため、身をよじっているような花姿からとされています。

会員の皆様も来年、近くに「トリトマ」が咲きましたら観賞しては如何ですか。(森 克彦. 記)

** お知らせ **

「2016 日光を巡る旅」参加者は、10月15日の午後12時30分までに、ソニックシティ・ホール1階、JSRT事務局受付前に集合して下さい。



FAR 情報誌 No.46 (非売品)

発行日 平成28年9月15日
発行者 川上壽昭
編集委員会 森 克彦 (委員長)
石井 勉 橋本廣信
山田和美
森：連絡先 Tel&Fax. 049-225-2619
Email: mokamokawh@gmail.com